



島短食レポ隊 in 浜田 part 1

平成28年 1月17日

浜田編です。神門が担当します！！

私は島根県民ですが、浜田市には一度も行ったことがありません。

そんな初めての浜田市で食レポ隊が今回訪れたところは・・・

有機栽培を行っておられる**佐々木農場**です！

有機栽培とは：農薬を使用せず、自然の肥料（堆肥や落ち葉、米ぬか、もみ殻、バイオ酵素）などを使用する栽培。人の身体や地球（環境）に優しい。



社長の佐々木一郎さん

有機栽培を始められたきっかけや、無農薬にもかかわらず虫がつかない工夫など、社長の佐々木一郎さんがお話しをしてくださいました。

佐々木さんは岡山大学で農業を学び、山でカキやモモといった果樹、地形の悪い田んぼでお米を作ったり、シイタケを栽培するなどの昔ながらの農業をやっておられました。

しかし、労働時間が長いにもかかわらず所得は少ないという状況。

この状況を打破すべくヨーロッパや中国を訪れ、土地の広さ、売られている野菜の価格の安さに衝撃を受け、農業の見直しを行いました。

そして大量生産を重視している外国には無い**食品の新鮮さ、安全性を追求し、無農薬のものを家族やお客様に食べてもらいたいという思い**から有機栽培を始めることにしました。

佐々木農場で栽培している野菜

昔に果樹を栽培していた山を崩して、いちから平らな土地を作り、ビニールハウスでの生産を開始。現在では95棟のハウスがあり、主にほうれん草やチンゲン菜などの葉もの野菜を栽培しておられます。



ほうれん草



チンゲン菜



水菜



ねぎ

- ・土の中の栄養管理を徹底されているため、**栄養価が高い！**
- ・周りに農家がないため農薬が風に乗って飛んでこない、周りに住宅や工場がないため生活排水や工業排水がなく、新鮮な地下水を利用できるため、**安全性が高い！**

栽培した野菜は関東方面の「Oiaix (おいっくす)」や「大地を守る会」などの販売会社と直接契約して出荷しておられます。

これは、有機野菜は農薬を使って作られる野菜に比べて人手がかかるため価格が高いですが、関東などの都会は人口が多いため、高い価格でも売れるためです。

また、地元の農協に出荷するほか、浜田市の学校給食で使われていたり、浜田市のスーパー、道の駅、島根県内のスーパー、生協で売られていて地元で人気のある野菜です。

効率の良い農業のしくみ

有機農業は、虫を寄せ付けないような工夫や、土の中の栄養管理やハウスの中の換気をきちんとしないといけないためとても苦労されていると思います。

島根県の4万近くある農家の内、43件しか行っていないほど大変なことです。



防虫ネット（0.6mm目）

目の細かいネットを使うことで、虫が入ってこないような工夫をされています。



UVカットフィルム

近紫外線(380nm以下)をカットすることで、病原菌や害虫の活動を防止して、作物が育ちやすい環境を作っておられます。

また、**輪作（りんさく）**といって、科の同じ小松菜、水菜、チンゲン菜を混植したあと、次は科の異なるほうれん草、次は玉ねぎ、とそれぞれの害虫が好む作物を一年の中で変えて栽培することで、虫の発生を抑える方法を行っているのも佐々木農場の特徴です。



収穫した野菜の選別は、約10名の従業員さんが手作業でやっておられました。

袋詰め機械



機械の入り口に野菜を通すと自動的に袋詰めされます。



仲間との取り組み

ここまでやってこれたのは、大学で出会って自分についてきてくれた奥さん、共に働く仲間の支えがあったからそうです。

- ・生産部門として、平成10年に「いわみ地方有機野菜の会」を設立する。
- ・販売部門として、平成20年に「(株)ぐり〜んは〜と」を設立する。
- ・就農希望の研修生を受け入れ、サポートを行う。
- ・消費者等、お客様との交流会を行う。(収穫作業体験や食事会などを通じて相互の理解を深める。)
- ・地元の小学校の体験学習を通して次代に繋がるきっかけづくりのサポートを行う。



「いわみ地方有機野菜の会」

会員農場数：10 会員メンバー：17名



会員農家(10戸)で

約200人の方が働いている。

多くの野菜を作ったり、色々な種類の野菜を作ることができるのが、グループのメリッ



地元小学生との交流



生協組合員との交流



農家の後継者問題も深刻な中、平成23年には次男が、平成25年には長男夫婦が就農し、新たな仲間として協力されています。「家が居心地が良くて好き」という理由から農業を継ぐことを決めたそうです。

今後の取り組み

- ・ 品質（おいしさ）と安全性の更なる向上
- ・ お客様目線に立った商品の開発
- ・ お客様との親密な交流による一層の信頼獲得
- ・ 次代を担う後継者の研修受け入れと仲間づくり

感想

お話を聞いて、佐々木さんは共に働く仲間や家族、地域とのつながりをとても大切されている方だという印象を受けました。

効率の良い農業を行うために外国を訪れたり、山を崩して平らな土地を作るなど、様々な挑戦をされておられ、すごいなと思いました。

無農薬であっても虫がつかないように工夫も聞くことができ、野菜を口にするお客様や家族のことを一番に考えておられるということがわかりました。

また浜田に行く機会があれば、収穫体験をやってみたいので佐々木農場を訪れたいです。食レポ隊で佐々木さんに出会うことができ良かったです。ありがとうございました。

参考文献

「特選農家の産直市場」 <http://no-kon.com/contents/page42>

「地域の仲間とともに有機農業に取り組む」 (有) 佐々木農場代表取締役 佐々木一郎